

石巻市中心商店街再興のさきがけ ～『石巻立町復興ふれあい商店街』～

【 宮城県石巻市立町二丁目地区 】

名 称 : 石巻立町復興ふれあい商店街
所 在 地 : 宮城県石巻市立町二丁目 157 番 1
種 別 : 仮設店舗及び事務所等
延床面積 : 671㎡
入 居 者 : 小売業、飲食業等の21事業者が入居
区 画 数 : 23区画
建物構造 : 軽量鉄骨造 1 階建て
事業開始 : 平成23年9月22日
完 成 : 平成23年11月18日
供用開始 : 平成23年12月10日 (仮設商店街オープン)

宮城県石巻市は、宮城県第2の都市として、わが国有数の水産基地を支える中心商店街・飲食街を有していた。東日本大震災、とくに津波が北上川から中心市街地に流入し、中心商店街は津波浮遊物とヘドロに埋め尽くされ、甚大な被害を被った。石ノ森章太郎先生のキャラクターを活かして「まちづくり」を推進していた商店街は、大きく姿を変えてしまった。

地域の復興に向け、石巻商工会議所が中心となって、中心市街地の商店主、飲食店主等が、商店街の再興に向け動き出した。これを受けて、石巻市は、企業が所有する駐車場用地を活用し、中心市街地の核となる仮設店舗を計画し、中小機構に仮設施設整備を要望した。

石巻市食料品、化粧品、スポーツ用品、家電等の小売店舗、理容店、飲食店4店舗の計21事業者が入居して、12月10日にオープンした。市中心市街地の拠点となる仮設商店街として期待されている。

